

公益財団法人 日本下水道新技術機構

第16回評議員会議事録

- 1 開催された日時 令和元年6月20日(木) 13時25分から15時20分
- 2 開催された場所 公益財団法人 日本下水道新技術機構 8階特別会議室
- 3 評議員総数 9名
- 4 出席評議員数 9名
(出席) 小川 健一 楠田 哲也 小池 剛 曾小川久貴
手島 康博 野村 喜一 松尾 友矩 松木 晴雄
山下 研二

(監事出席) 穂本 守雄 丸山 淳一

5 議 題

議案(決議事項)

- 第1号議案 平成30年度決算関係書類の承認に関する件
- 第2号議案 理事の選任に関する件
- 第3号議案 評議員の補欠選任に関する件

報告事項

- (1) 役員推薦委員会結果報告
- (2) 理事会決議事項
 - ① 平成30年度事業報告
 - ② 令和元年度特定資産運用方針について
- (3) 理事会報告事項
 - ① 平成30事業年度監査報告
 - ② 有価証券等の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益
 - ③ 中期事業計画フォローアップ
 - ④ 特定費用準備資金による研究成果
 - ⑤ 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

6 議事の経過の要領及びその結果

(1) 議決に加わらない決議事項への事前申し出及び議決数の報告

神原事務局長から評議員会の決議要件について、定款第23条第1項の規定により、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行うこととされていることから、評議員の中で、特別の利害関係を有するため議決に加わることができない決議事項があれば議決の前に議長に申し出をされるよう説明があった。そのうえで、本評議員会の出席者は9名全員出席であり、特別の利害関係を有すると申し出をされる評議員がいなければ、本評議員会での決議事項は成立することの報告があった。

(2) 議長の選出

神原事務局長から議長の選出について、定款第22条の規定に基づき、「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員会の中から選出することの説明があり、その間、江藤理事長が議事を進行した。

その後、江藤理事長が議長の推薦を求めたところ、野村評議員から『長きにわたる学識経験や機構業務をよく理解されている松尾評議員を議長に推薦する』との発言があり、他に推薦がなかったことから本評議員会の議長は松尾友矩評議員が選出された。

(3) 議事録署名人の報告

定款 26 条第 2 項の規定による議事録署名人は松尾議長に一任され、次の 2 名が選出された。

小川 健一 評議員 及び 手島 康博 評議員

(4) 議案の審議状況及び決議結果等

○決議事項

第 1 号議案 平成 30 年度決算関係書類の承認に関する件

松尾議長から、議案の「平成 30 年度決算関係書類」の承認に関する件につきましては、報告事項(2)①「平成 30 年度事業報告」、報告事項(3)②「有価証券等の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益」、報告事項(3)③「中期事業計画フォローアップ」及び報告事項(3)④「特定費用準備資金による研究成果」について、併せて一括説明するよう発言があり、先ず、塩路専務理事から「平成 30 年度事業報告」について資料を用いて詳細な説明があった。

そのあと、事務局から本議案である決算関係書類及び関連事項について、議案資料及び関連報告事項資料に沿って詳細に説明が行われた。

引き続き、監事監査について報告事項(3)①監査報告書の説明があった。

説明終了後、本議案の承認が得られれば、平成 30 年度事業報告及び平成 30 年度決算関係書類は、「事業報告等に係る提出書」として行政庁へ提出することの説明があった。

このあと、同議案に関して、次の発言・質疑応答があった。

松木評議員 中期事業計画の見直しに当たって、目玉的なテーマで具体的事案があれば教えていただきたい。

事務局 地方公共団体の広域化・共同化について汚泥の有効利用や情報の監視制御など様々な取り組みや、最近ではマイクロプラスチックなど当初想定していなかったものも出てきており、他にそういうものが無いのかなど見直しをしていきたいと考えています。

江藤理事長 見直しに当たっては、災害についても当初想定レベル以上の災害が発生している事から、災害対策についてももう一度考え直す必要があること、また、PPPの議論も色々な動きが出てきている中で、管路についてPPPを支援するような役割を果たせないか、他にも機構が設立されて30年経過しようとしているが長期スパンで機構の役割をどう考えていくのかを視野に置きつつ、皆様の意見も頂きながら、次期中期計画として纏めていきたいと考えております。

松木評議員 厳しい財政状況にあって、人口減少の中で、広域化など効率的に運営をしていくため、コストダウンの努力をしながら改築・更新に取り組むが、改築には相当の費用が必要となることから、下水道界として社会へ、その必要性を発信するようなテーマに取り組んでいただきたい。

江藤理事長 効率化ということでは、AI技術・ICT技術の活用を行っているところですが、重要なコストの問題について、民間と十分な議論が出来ていなかった部分もありますので、今後、議論を重ねて反映できればと考えております。

楠田評議員 広報活動の一環として講習会等の内容をホームページ等で公開していると思いますが、その周知方法はどのようにしておられますか。

に
す
尾

2

き
券
画
つ
30
案

年
の

あ

視
想
な

発
と、
P
30
く
て

営
む
へ、

ろ
な
て
て

また、事務負担の軽減を図るうえでも働き方改革の一環として会議等のペーパーレス化に取り組んでいただければと思っております。

事務局 技術マニュアル活用講習会のような機構の成果につきましては一般サイトで動画配信しておりますし、セミナー等につきましては講演者の了解のもとに会員サイトで動画配信をしております。また配信情報につきましてはメルマガ等で周知を図っているところです。

江藤理事長 ペーパーレス化につきましては、タブレットの活用を一部の委員会等で実施しておりますが、使い勝手が悪いことなどから、全ての会議等において実施できていないので改善をしていきたいと考えております。

小川評議員 技術審査証明事業のフォローアップは非常に重要な事と考えますが、実際に現場でどのような不都合があったのか、また、今後の方向性について教えていただきたい。

事務局 現在のところ技術そのものの不具合についての情報はありません。

江藤理事長 今後の方向性につきましては、審査照明委員会で議論していただきたいと思っております。民間からの申請を受けての確認のための立会方法など機構の関わり方について考えていく必要があるのではと思っておりますが、いずれにしても、フォローアップを充実していく方向で考えております。

小川評議員 証明をした技術に不具合があった場合は、徹底して叩かれるので、それをどのようにフォローアップしていくかというのは非常に難しいと思いますが、他団体の参考にもなるので、進めていただきたい。

松尾議長 公共団体との共同研究で水環境・再生水利用がプラスチックの話になっていますが、再生水利用の中で、どういう観点でプラスチックを研究しようとしているのか、全体の中で、どのような位置づけで、外部に対してアピールしていこうとしているのかを教えていただきたい。

塩路専務理事 マイクロプラスチックにつきましては、基礎的な測定方法などから始めて、まずは実態把握をしたうえで、方向性を見極めて研究を進めていきたいと考えているところです。

松尾議長 下水道の機能が社会の中でどのように貢献しているのかという視点が重要ではと思っております。環境に対して下水道が持っている役割をアピールするような位置づけというような、社会システムとして下水道を捉え、エネルギーシステムを適正化していくというような、広いアプローチが必要ではと思っております。

江藤理事長 プラスチックにつきましては、環境ホルモンの時と同様な議論のスタートであると思っております。分析方法も確立されていない状態から、まず実態を把握するところから議論を始めて、下水道の効果・役割が確認できないか、また、海洋プラスチック問題も、雨水も河川、下水道を通じてという構図の中で、下水道の回収機能から上手く表現出来ないかというイメージを持ちながら議論を始めたところです。

以上のほか、意見・質問はなく、議長が本議案について諮ったところ、原案どおり出席評議員全員一致で承認された。

第2号議案 理事の選任に関する件

事務局から、本年3月開催の第15回評議員会で選任された「評議員会における役員を選任方法」に基づく「役員推薦委員会」から、同委員会を開催し理事候補者が推薦されたことの報告があった。このあと、本議案は、この委員会の審議結果に基づき、別紙名簿の7名の理事候補者の選任について附議することの説明があった。

このあと議長の求めに応じ、役員推薦委員会の開催結果について、役員推薦委員

会の委員である曾小川評議員から、報告事項（1）の役員推薦委員会結果報告に基づき説明があった。

このあと、意見・質問はなく、議長が候補者一人ごと諮ったところ、原案どおり出席評議員全員一致で可決し選任された。

なお、本評議員会において選任された理事7名は以下のとおりである。

江藤 隆、 大村 達夫、 齋藤 正勝、 塩路 勝久、
鷹本 貴彦、 花木 啓祐、 福井 聡

第3号議案 評議員の補欠選任に関する件

事務局から、松木評議員から辞任届が出されたので、その補欠として評議員1名を選任いただきたいとの提案理由の説明があった。

この後、松木評議員から辞任表明があり、議長から補欠の推薦について諮ったところ、松木評議員から中村靖氏の推薦があり、ほかに推薦がなかったことから、議長が中村靖氏を評議員に補欠選任することについて諮ったところ、出席評議員全員一致で可決し選任された。

○報告事項

(2) ②令和元年度特定資産運用方針について

(3) ⑤代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

代表理事である江藤理事長及び業務執行理事である塩路専務理事からそれぞれ職務執行状況報告があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、15時20分、議長は閉会を宣し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は記名押印する。

令和元年6月20日

議長

松尾友矩 

署名人

小川健一 

署名人

手島康博 